

学部・研究科名農学研究科

学部長・研究科委員長名馬場 正

学科名・専攻名農学専攻

1. 教育課程・学習成果に関する点検・評価項目

	①	②	③	④	⑤
点検項目	教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
自己評価 (☑を記入)	☒ している ☐ 一部している ☐ していない	☒ 講じている ☐ 一部講じている ☐ 講じていない	☒ 行っている ☐ 一部行っている ☐ 行っていない	☒ している ☐ 一部している ☐ していない	☒ 行っている ☐ 一部行っている ☐ 行っていない
点検項目に対する 現状説明	カリキュラム・ポリシーに基づく授業科目を設定している。農学専攻は各研究室がそれぞれの専門分野にあたり、専門領域が非常に広範、多岐であるため農学を総合的に学習できる。	大学院発表会および専攻のポスター発表会を実施している。	最新の内容を盛り込んだ授業を実施するとともに、これに沿ったシラバスとするように常に見直しを実施している。基準を明確にして成績を評価している。学位授与についても規定に従って実施している。	科目評価では成績により、演習科目ではプレゼンテーションを中心に発表内容の総合的に評価している。	教育課程及びその内容、方法について、専攻内会議で随時問題点をチェックし、専攻内で情報共有を図り、常に改善・向上に努めている。
現状説明を 踏まえた 長所・特色	【長所】 ・作物学、園芸学、植物育種学、植物病理学、農業環境学およびポストハーベスト学など多様かつ専門的な科目が開講されている。	【長所】 ・遠隔でも対面でも専攻の特徴を伝えるために、特にプレゼンテーション能力の向上に努めている。	【長所】 ・特論、演習科目により各自の専門性を、選択科目でより広い農学関連の知識を習得できる。	【長所】 ・計画発表や中間発表などを通して学習状況、研究の進行状況を随時把握できている。	【長所】 ・幅広い学問分野で様々な学会に教員が所属しているため、農学に関する総合的な情報が共有されている。
	【特色】 ・各分野の基礎的な内容である特論科目に加え、演習科目でより深く、応用的な内容が提供されている。	【特色】 ・各専門の学会で活躍する院生が一堂に会し、発表・議論できる場となっている。	【特色】 ・演習でのプレゼンテーションを通じて、思考力、問題解決能力の向上を図っている。	【特色】 ・専攻内の広い分野に属する教員がそれぞれの学位論文の進行状況を相互にチェックしている。	【特色】 ・農学に関する総合的な情報が共有できしており、広い視野による考え方で議論ができている。
現状説明を 踏まえた 問題点及び次 年度への課題	【問題点】 ・なし。	【問題点】 ・なし。	【問題点】 ・なし。	【問題点】 ・なし。	【問題点】 ・なし

2. 学生の受け入れに関する点検・評価項目

	①	②
点検項目	学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。
自己評価 (☑を記入)	☒ している ☐ 一部している ☐ していない	☒ 行っている ☐ 一部行っている ☐ 行っていない
点検項目に 対する 現状説明	入試情報の周知を徹底して、専門性を重視した入学者選抜を実施している。さらに、進学のパワーを高めるためにⅠ、Ⅱ期入試とともに推薦入試も実施している。	年 3 回（推薦、Ⅰ期およびⅡ期）の入試において、その状況について教員間で議論を重ね、適切性について常に取り組んでいる。
現状説明を 踏まえた 長所・特色	【長所】 ・研究室配属がきまる学部 3 年次から大学院進学に関する情報を周知して、進学意識の向上を図り、卒業論文から高いレベル研究を目指している。	【長所】 ・なし。
	【特色】 ・学部生の早い段階から、より高度な専門教育で進学をして研究を志す人材を発掘することに努めている。	【特色】 ・なし。
現状説明を 踏まえた 問題点及び次 年度への課題	【問題点】 ・進学者の減少。	【問題点】 ・なし。
	【課題】 ・定員の充足と優秀な大学院生確保の両立。	【課題】 ・なし。
根拠資料名	資料基 3（2022 年度博士前期入試問題）	

